

「目指すこどもの姿」と「実現するための教育環境」の意見まとめ

1 大甕・太田地区の教育が目指すこどもの姿

(1) 思いやりを持ち、同学年・異学年同士で成長し合う

小学校、中学校の垣根を越えて、お互いによい影響を与えられるこどもたち
思いやりのあるこども

(2) 地域を愛し誇りを持つ

地域（原町、大甕、太田）を愛し、地域のために活動することができる
大甕・太田地区の良さを理解している
地域の愛着を持つ子

(3) 得意を伸ばし自己肯定感を育む

現在の子どもたちの特色を伸ばす
好きなこと、得意なことをのびのびできるこども

(4) 協調性・多様性（他者への理解）を育む

協調性
他者を理解し、協力して取り組むことができる
自己発揮をしながら周りの友達と協力して物事に取り組むこども
他の学校の子などとの触れ合いを通した多様性への理解

(5) 基礎学力・体力を身につける

学力の定着
基礎学力の定着、基礎体力の充実
主体的に学習に取り組み、確かな学力を身につけ、自分の夢や希望を実現できる
学力も大事ではあるが、基礎体力がつくような教育を行ってほしい

(6) 挨拶や生活習慣など基本を大切にする

あたり前をしっかりできるこども（あいさつなど）

2 目指すこどもの姿を実現するための教育環境

(1) 地域資源を生かす

田植えや野馬追などいろんな機会を体験できる

法螺貝などの伝統を継承

地域住民との接点を持ち続けてほしい

地域住民の触れ合い交流（馬、田植え、etc.）

地域資源を活用した教育（田植え、相馬野馬追等）

農業（稲作）や工業（ロボテス）を活用したキャリア教育

(2) 多様な学びの提供

いろんな機会に触れる、いろんな可能性に触れる機会が多ければ多いほどいい

プログラミング学習

一人一人が主役になれる

地区外から子どもを呼び込める教育（スポ少、学力など）

自ら発表できる、表現できる環境

「田舎だから」、「人数が少ない」などという理由で諦めることなく、

やりたいことに挑戦できる教育環境

報徳仕法を学ぶ

(3) 人間関係と多様性（他者への理解）を育む環境

異学年交流

幼稚園と小学校の交流

他学校・地域との交流

異年齢での活動（例えば、ふるさとクラブと吹奏楽部の連携）

幼小接続

(4) 安心して学校に通える環境

オンライン授業などの選択肢、通いやすい学校づくり

5年度後、小中一貫の際に多く関わってくる未就学児の保護者の方の不安、

問題を取り除いていくのが重要